

町内会・自治会等ヒアリング（1回目）
地域の資源・課題編 結果概要
見前・永井地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】をご覧ください、平成21年度の見直し時から約10年が経過したことを踏まえ、記載されている内容について、この約10年間で感じる地域の課題や変化、意見等についてお聞きしました。

①『地域の好きなおところ』について

- 山なみ、川、田園風景など景観がよい。
- 自然環境を含め総じて住みよい地域だと思います。ただし少子高齢化は進んでおり、町内会活動等で交流を実施しています。
- 都南中央公園、キャラホール、プール、図書館など社会インフラが整備されており快適である。
- 自然に恵まれた環境がよく人と人の混み合いがなく日常の生活用品等の購入に困らないようにお店が点在し住むには最高の地域である。
- 進捗の成果もあり人口が増加し活気がある。一方で都市計画が外れたエリアの取り残されたエリアになりつつある（特に三本柳地区）。
- 田畑、北上川と自然とのふれあえる機会に恵まれている地域。多くの方が北上川土手を散策コースとして利用しています。北上川河川敷をパークゴルフ等で利用しています。
- 岩手山が眺められ山、川の自然環境に恵まれた心が癒せる地である。
- 人口が増えている（市街地が拡大している）。
- 市街地と農地が隣接している。

②『地域の課題』について

- 岩手医科大学の矢巾町移転で国道4号都南中央橋に至る道路の交通量が大幅に増えた。この道路は見前南小学校の通学路でもあり昨今の報道からも早めの対策が求められる。
- 北上川や見前川の治水対策（洪水の不安、内水による浸水被害が発生）。
- 多少、交通の便が悪い点である。大きなバス車体のバスではなくマイクロバスのような小型の車にして経費を削減して運行本数を増やして利便性を高められないのかと思っています。
- 雪国なのでもう少し除雪の方法を考えてほしい。個人では雪の捨て場がなく苦労している。除雪した雪を処分してほしいです。個人では処分できない。
- 子どもが減り高齢者が増加。高齢化のさらなる進行⇒単身高齢者への支援が必要。
- 宅地開発に伴う車の増加で渋滞や交差時の支障が多く発生しています（特に登校、出勤時間等）。宅地開発の際は幹線道路につながる既存道路の拡張を考慮して許可していただきたいものです。
- アパート世帯の増加により地域のコミュニケーションが取れず対策が必要である。
- 高齢化に伴い施設入所や死亡等で空き家が多くなってきてます。
- 近年、高齢化が進み育成会の親の参加等も少ないため地域運営に悩む時期にきました。我々の地域にも住宅地が多く新しい住宅ができていますが道路はそのままで交通量が多いので事故につながる危険を感じる人が多い。冬は除雪も遅い場所である。
- 車両交通増に対応する道路整備が不十分である。
- 岩手飯岡駅周辺の整備が必要である。

③『地域の資源・課題マップ』について

- 戸建て住宅が増加⇒ごみ集積場の確保が急がれる。
- 南運動公園とその周辺の道路、歩道整備が優先課題と思われる。
- 「市場跡地の利用」はスーパーユニバース等で利用決着済み。
- 「飯岡駅周辺の整備」は駅前広場が整備され駅舎が改築中でほぼ達成。
- 「区画整理の進捗」もかなり整備が進んだ。

④その他

- 通学路の安全確保対策が必要ではないか。
- 児童公園等の看板等の文字が消えているところが多い。
- 運動公園が整備されつつあるが交通の便等をどのように考えているのでしょうか。駐車場が離れた場合野球場等までの交通の便を考えてほしいと思います。これはできないこととおもいますが、バス等の連絡車等があればいいと思います。
- 今後の「まちづくり」は少子高齢化がさらに進むことを見据えて、限られた財源下ではハード面の整備よりもソフト面の充実、福祉の充実に力点を置いた方策が望ましいと思います。
- 今後、コンパクトシティを形成していく上で都南地区は重要度を増すと思われる。過去の決定の再考も含めて検討を求める。
- 宅地開発に伴い空き地等がなくなってきて排雪の場所確保が難しくなっています。除雪と排雪セットでの除雪作業を望みます。
- 世代交流の機会がコロナ禍2年で薄れてきている。コミュニケーション不足、40～50歳未満の方々は群れて語り合う集うことに懸念の傾向があります。70～80歳代は元気で向こう三軒両隣のお付き合い、おしゃべり大好きで明るい。

「問2」については、まちづくり全般に関する意見についてお聞きしました。

- 当地区には県立盛岡南高校があるが統合した場合はどうなるのか。
- 盛岡市内の祭りについて、さんさ踊りや盛岡花火大会等もう少し交通の便を考えてほしいです。バスセンター周辺も駐車場が満車でどうにもならないことがあった。やはり祭りを盛り上げるには人が集まったほうが良いと思う。
- 超高齢時代を考えると歩いて暮らすまちづくりは必要。そのためにも交通インフラ整備を進めていただきたい。子ども、若者が希望を持てるよう今後もより一層子ども、若者政策を進めていただきたいと思います。
- 盛岡四高から日赤までの国道4号東側には近隣町内の地域住民が集う公共施設(市営の公民館や老人センター等)がありません。親睦交流活動を深め合える場が必要と思われます。
- 岩手医科大、盛岡間の道路整備を一日も早く進めてほしい。そのことによって地域の関連道路整備が進み新たな起業進出が期待できる。
- ご近所で声をかけあい、あいさつ、いたわり、気遣い、思いやり、おひとりおひとり大切に丁寧に日々を過ごすために交流が一番。互いに思い感じていること、語り合いが必要。
- どちらの地域も少子高齢化だと思いますが我が町内は半分は青年部が役員をしています。しかし青年部も50歳代に向かっているので後へ続く30～40歳代を仲間にするのが悩ましい現状です。

町内会・自治会等ヒアリング（2回目）
まちづくりの方向性と基本方針編 結果概要
見前・永井地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、添付した地域の現状データや、1回目のヒアリングの結果概要及び各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】を確認いただき、各項目への追加、修正点や今後の地域のまちづくりに関する意見等についてお聞きしました。

①『まちづくりの方向性』について

- 高齢者が増加しており互いに支え合うコミュニティの形成。
- 近所同士のコミュニケーションから子どもへのつながり、親とのつながりになり、町内会、地域への関心につながる。
- 高齢化の進展等に配慮した交通弱者が可能な限り長く自立して生活できる環境の整備も重要なテーマかと思います。

②『まちづくりの目標』について

- 安全で住みよい環境づくり。危険な交差点の改善など。
- 学童通学路の整備。
- 記録的大雨にも耐えうる堤防に補強。
- 交流の促進・活発化による地域コミュニケーションの向上。

③『まちづくりの基本方針』について

- 既存地域の文化維持と振興地域の交流促進による充足感の持てる地域づくり。
- 地域内の世代間交流と共助の促進による心の豊かさを持てる地域づくり。
- 岩手飯岡駅と盛岡南運動公園の整備が進んでいますが盛岡南運動公園へのバスでのアクセスを考えてください。
- 野球場及びサッカー場への道路アクセスが悪いので盛岡以外から来る人には分かりづらく大変不便に感じると思う。
- 岩手飯岡駅の駅舎がリニューアルされ、また、都南地域のメイン道路である岩手飯岡駅前通線の整備がまもなく完了するので、この路線の沿道区域に新たな賑わいの創出が必要と考える。

④『まちづくりの方針マップ』について

- 多賀神社西側道路を整備する。
- 田園風景は地域の生業を映した風景であって、豊かな自然を象徴するものではないと思います。

「問2」については、広く今後のまちづくりについて検討する必要があると感じることについてお聞きしました。

- 道路が狭い。すれ違いも大変。除雪がひどい。新しい住民もびっくりしている。
- 国道4号東側、県道上米内湯沢線の北側地区の道路環境の改善が必要と考える。